

経 由

議 長



政務活動費交付請求書

令和7年2月9日

四日市市長

会 派 名 市民目線の会

代表者氏名 小林 博次

四日市市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第4条第1項の規定に基づき、
令和7年1月分政務活動費の交付を次のとおり請求します。

1 請 求 額

¥91,397-

2. 政務活動費の対象となる経費

区 分	金 額	備 考
調 査 研 究 費	48,420	
研 修 費	7,440	
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費	1,100	
要請・陳情活動費		
会 議 費		
広 報 費		
広 聴 費		
人 件 費		
事 務 費	34,437	コピー機代・その他
合 計	91,397	

※概算払・前金払がある場合は、備考にその別を記載すること。



経 理 責 任 者

田中

内 訳 明 細

令和7年1月分 No. /
市民目線の会

区 分	金 額	内 容
調 査 研 究 費		
研 修 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
広 報 費		
広 聴 費		
人 件 費		
事 務 費	33.359	コピー機リース等
合 計	33.359	

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること。

品名	数量	単価	金額
7- 1- 9 900 タカ トル			*50,000
7- 1-23 200			*11,139 (SMBC (ヤノ)
7- 1-23 200			*22,620 (≧0-20)
7- 1-30 900 セムガット"ワ"カイ			*59,055
7- 2- 3 200			*21,450 シヤ-プ-ア-イ-ン-ス

差引	残高
*71,368	105
*60,229	105
*37,609	105
*96,664	105
*75,214	105

ご請求書 (お引落のお知らせ)

四日市市議会 御中

いつも格別のお引立てを賜り誠に有難うございます。
下記の通りご請求申し上げます。

お客様番号	: BA0296-0006-01
請求書No.	: 82028661
締日	: 2024年12月分
ご請求額 (税込)	: ¥11,139-

契約書No. K230196871 設置先名 四日市市議会 市民目録の会
製品名 IR-ADVC3826F シリアルNo. 40C17426

品名	数量	単価	金額
1 カラーコピー	1	8,597	8,597
2 カラープリント	2	7,282	14,564
3 ブラック	1	10,893	10,893
品名	カウンタ-保守料金		
1 カラーコピー	1		
2 カラープリント	2		
3 ブラック	3		

(ミニマム 200部/月含む)

<各種サービス料金合計>

料金合計 (税抜)	10,127
(10%対象等	10,127
消費税等	1,012
ご請求額合計	11,139

A 22620 振込金 受取 1/23

依頼日	2025年1月23日
金額	21,850
支払銀行	みずほ銀行
シラカバ支店	
普通	0608265
シャ-プ-ファイナ-ス	
K.K	
ヨツカイシキ-カイシ	
ミンセンノカイ	
5201K1266826	
手数料	770



お支払方法: ご指定口座
お引落日: 2025年01月
お引落日: 三十三銀行
四日市市

◎ご契約内容
お支払いのお願い
2025年01月08日作成
※引落日は金融機関非常営業日の場合は、その翌営業日となります。

契約番号	商品名	お支払金額	引落日	引渡不能理由
5201K1266826	デジタルカメラ	21,850円	01月03日	残高不足
770円				
◎今回お支払いいただく金額				
金	約定金	21,850円		
内訳	督促手数料(10%)	21,450円		
	内、消費税	400円		
		36円		

お支払期限 「至急」
お問合わせ番号 5201K1266826
事業者登録番号 T4120001005486

1. 本書状についてのお問合わせは、「お問合わせ番号」をお印出の上、弊社までご連絡下さい。
2. 銀行・JCB・VISAでの振込手数料はお客様の負担となります。宜しくお引落とし下さい。
3. JCB・VISAでの取扱い上限金額は30万円(消費税込)です。
※30万円(消費税込)を超える場合、金融機関をご利用下さい。
平素は、シャ-プファイナ-スをご利用いただき誠にありがとうございます。
さて、上記契約のお支払をご指定の金融機関預金口座から引落しさせていただきます。つきましては、上記の理由により口座引落しが出たことをご承知ください。
左記の振込用紙にて裏面記載のコンビニエンスストアもしくは金融機関から「至急」ご送金下さいませ。
ご希望の引落日は、本書状と行き違いにご送金いただきます。
した場合は何卒ご容赦願います。

21850円
770円

22620円

55 督促手数料 400円を除く
22,220円を請求する。

内 訳 明 細

水谷一未
令和7年1月分 No. 2

区 分	金 額	内 容
調 査 研 究 費	48,420	視察（北本市・武蔵野市）
研 修 費	7,440	研修
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費	1,100	資料
要請・陳情活動費		
会 議 費		
広 報 費		
広 聴 費		
人 件 費		
事 務 費	1,078	事務用品
合 計	58,038 ✓	

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること。

発行日: 2025年2月5日

注文日: 2025年1月23日

Amazon.co.jp 注文番号: 249-3428925-3951052

ご請求額: ¥ 1,100

市民目線の会

様

2025年1月24日に発送済み

注文商品

1点 奇跡の食育—給食を変えたらイジメ・非行・暴力がなくなった, 大塚貢

販売: 美健ガイド社アマゾン支店 (出品者のプロフィール)

価格

¥550

コンディション: 新品

お届け先住所:

水谷一未 市民目線の会

510-0085

三重県 四日市市諏訪町

1-5

四日市市役所 議会事務局 10階

配送方法:

通常配送

支払い情報

支払い方法:

一括払い

請求先住所:

水谷 一未

商品の小計:

¥550

配送料・手数料:

¥550

注文合計:

¥1,100

ご請求額:

¥1,100

2025年1月24日:

¥1,100

注文の状況を確認するには、注文内容をご覧ください。

利用規約 | プライバシー規約 ©1996-2020, Amazon.com, Inc. and its affiliates

日本語

日本

ヘルプ・サポート

利用規約 | フライバシー規約 | パーソナライズド広告規約 | 各種規約 | 特定商取引法に基づく表示

© 1996-2025, Amazon.com, Inc. またはその関連会社



新製品が安い K&S ケーズデンキ

お買上げ明細

2025年 2月 2日(日)

13時23分

＜明細＞

1 ●Lightning-3.5φ ・持帰
エレコム
4953103355149 MPA-L35DS01BK 10%
1点 ¥2,480

2 ●ステレオイヤホン、音量調節付 ・持帰
オズマ
4571341966509 IESMV-SP602BK 10%
1点 ¥1,078

2点/合計 ¥3,558

税率別内訳 / 課税対象額 10% ¥3,558
(内消費税額 ¥323)

[0514042-051038289-2310004432256]

領収証

2025年 2月 2日(日)

13時23分

様

金額 ¥3,558

(内消費税等 ¥323)

税率別内訳 / 課税対象額 10% ¥3,558
(内消費税額 ¥323)

但し、お品代として

上記金額正に領収致しました。

＜決済内訳＞

現金 ¥3,558
(内消費税等 ¥323)

現金お預かり ¥3,558

登録番号:T9180001088934
株式会社ギガス

ケーズデンキ四日市生桑店
電話番号 059-332-7770
販売担当者038289

店コード 2200005140420
売上伝票番号 2310004432256

パート・アルバイト 大募集中！
☆詳しい情報・応募は☆
↓↓ こちらから ↓↓



(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名	市民目線の会									
参加者氏名	水谷 一未									
用務先	北本市、武蔵野市									
実施日	令和7年1月15日 (水) ~ 令和7年1月16日 (木)									
目 的	視察									
月日	発 着	路 程	路線	運 賃	特別料金	特・急料	日 当	宿泊料		
1/15	近鉄 四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	円	520 円	2 日 (3,000 円/日)	甲地方 1 泊 (15,900 円/泊) 乙地方 泊 (14,900 円/泊)		
	名古屋 ~ 東京	366.0 KM	JR	6,930 円	円	4,720 円				
	東京 ~ 北本	46.7 KM	JR	円	円	円				
1/16	北本 ~ 新宿	43.8 KM	JR	990 円	円	円				
	新宿 ~ 三鷹	13.8 KM	JR	円	円	円				
	三鷹 ~ 東京	24.1 KM	JR	6,600 円	円	円				
	東京 ~ 名古屋	366.0 KM	JR	円	円	4,720 円				
	名古屋 ~ 近鉄 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	円	520 円				
	~	KM		円	円	円				
	~	KM		円	円	円				
	~	KM		円	円	円				
	~	KM		円	円	円				
小 計				16,040 × 1 16,040 円 ✓	× 0 円	10,480 × 1 10,480 円 ✓			6,000 × 1 6,000 円	15,900 × 1 15,900 円
合 計				48,420 ✓						

※精算

	運 賃	特別料金	特・急料	日 当	宿 泊 料
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

令和7年01月17日

実 施 日 時	令和7年1月16日（木）10時00分～12時00分
参 加 者 氏 名	分科会会長 山田知美 分科会副会長 山口智也 委員 伊世利子 委員 太田紀子 委員 小田あけみ 委員 水谷一未 委員 森川 慎
用 務 先	議員政策研究会 子どもの権利条例に関する調査研究についての分科会 子どもの権利条約について
対 応 者	武蔵野市 こども家庭部 こども子育て支援課長 久保田 由香里 武蔵野市 こども家庭部 こども子育て支援課 子ども政策係 子ども の権利擁護機関担当係長三浦 弘嗣 武蔵野市 こども家庭部 こども子育て支援課 子ども政策係 課長 補佐 丸山 貴文
目 的 ・ 内 容	1) 調査研究項目 子どもの権利条例に関する調査研究について 2) こども擁護支援センターも設置していることから、今後の課題について
成 果 ・ 所 感	別紙1

資料別添付

別紙 1

視察報告書：武蔵野市における子どもの権利条例の取り組み

1. 視察目的

- 武蔵野市「子どもの権利条例」の制定過程、運用状況、具体的な政策を学び、他自治体での実践に向けた示唆を得る。

2. 背景

- 武蔵野市は、子どもの最善の利益を守るため「子どもの権利条例」を令和5年4月に施行。
- 子どもの権利擁護の強化と、長期安定的な子ども政策推進を目的として条例が制定された。

3. 視察内容

1. 条例制定のプロセス

- 平成29年度に「中高生世代ワークショップ」開始。子どもの意見収集が条例制定の基盤に。
- 令和3年、条例検討委員会設置。有識者、市民代表、弁護士ら14名で構成。
- 条例案作成時に、小・中学生を対象としたアンケートやパブリックコメントを実施（総計1600件以上の意見を反映）。

2. 条例の具体的な内容

- 権利の保障（第13条～20条）
 - 子どもが自分らしく過ごせる場所や、意見表明の場を提供。
 - 子どもが政策に参加できる仕組みを整備。
- 安全と安心の確保（第21条～23条）
 - 暴力や虐待の禁止、犯罪からの保護を明記。
- 具体的な支援体制（第27条～28条）
 - 「子どもの権利擁護センター」設置。
 - 権利擁護委員による相談対応や権利侵害時の調査・救済を実施。

3. 子どもの権利擁護センター

- 設置目的：子どもの権利侵害の救済と普及啓発。
- 運営体制：
 - 権利擁護委員（大学教授、弁護士など）、相談員（心理士、福祉士）を配置。

- 電話、メール、直接訪問による相談窓口を提供。
- 活動例：
 - 学校や地域機関と連携し、相談内容に応じた対応を実施。
 - 啓発活動として、子ども向けイベントや広報活動を展開。
- 4. 取り組みの工夫
 - 子ども主体の参加：
 - 子どもの意見を条例の全文に反映。実行委員会での議論を重ね、子どもの言葉を直接採用。
 - 継続的な啓発活動：
 - 「子ども子育て応援フェスタ」やミュージカル公演を活用し、条例の普及を促進。
 - マスコットキャラクターの活用：
 - 子どもの認知を高めるため、キャラクターを活用した啓発活動を実施。「ミミワン」を採用

4. 成果と課題

1. 成果

- 条例施行後、子どもの権利に関する相談件数が増加。
- 子どもの政策参加を促進する仕組みが整備され、活用が進む。

2. 課題

- 権利条例やセンターの認知度向上が必要。
- 相談対応体制の強化、持続可能な運営が求められる。

5. 提言

- 子ども参加のさらなる推進：
 - 不登校児や特別な支援が必要な子どもも含め、幅広い層の意見収集を行う。
- センター運営の強化：
 - 人材確保やスムーズな連携体制の整備を推進。
- 啓発活動の充実：
 - デジタルツールや SNS を活用した広報戦略を強化。

本市でも予算をしっかりと見極め出来ることからきめ細かく試案し、今後に活かしていきたい

調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

令和7年01月17日

実施日時	令和7年1月16日（水）13時30分～15時00分
参加者氏名	分科会会長 山田知美 分科会副会長 山口智也 委員 伊世利子 委員 太田紀子 委員 小田あけみ 委員 水谷一未 委員 森川 慎
用務先	議員政策研究会 子どもの権利条例に関する調査研究についての分科会 子どもの権利条約について
対応者	北本市議会事務局 副参事兼主任 古畑良健
目的・内容	1）調査研究項目 子どもの権利条例に関する調査研究について 2）北本氏は議員発議として制定したため、制定時の調査研究を確認する
成果・所感	別紙1

資料別添付

別紙 1

視察報告書：北本市における子どもの権利条例の取組

1. 視察目的

- 北本市における「子どもの権利条例」の具体的な政策とその実施状況を調査し、他自治体での活用可能性を検討する。

2. 背景

- 北本市は、地域社会の課題に対処するため「子どもの権利に関する条例」を制定。
- 本条例は、子どもの権利を明確に保護し、子どもにとって住みよいまちづくりを目指すために、議員提案で成立。

3. 視察内容

1. 条例制定のプロセス

- 勉強会の設置：令和 2 年 10 月から議員有志による勉強会を開始。
- 意見収集：市民や子どもたちから意見を収集するために、アンケート、パブリックコメント、対面型意見聴取を実施。
- 特別委員会の設置：令和 3 年 6 月、議会に特別委員会を設置し、半年間で原案を作成。
- 条例施行：令和 4 年 10 月に施行。

2. 条例の具体的な政策

- 北本こども会議の設置（第 17 条）：
 - 子どもたち自身が意見を表明し、市政に反映するための場を提供。
 - テーマを自由に設定し、子どもたちが主体的に参加。
- 子どもの権利擁護委員の設置（第 21 条）：
 - 弁護士や大学教授など、高い専門性を持つ人材を擁護委員として任命。
 - 独立性を確保し、子どもの権利が侵害された場合の相談・救済を実施。
- 子どもの権利啓発活動（第 6 章）：
 - 子どもや大人に「子どもの権利」を広く周知するためのパンフレットや YouTube 動画の制作。
 - 学校や地域イベントでの積極的な周知活動。
- 意見聴取の徹底：
 - 条例制定時に 124 件の意見を市民から収集。
 - 子ども 21 件の意見を個別に聴取する取り組みを実施。
- 相談窓口の設置：
 - 人権推進課内に「子どもの権利相談窓口」を設置し、2024 年度には年間 100 件超の相談を受け付け。
 - 相談員として元学校教員や保育士を採用し、適切な支援を提供。

3. 運用の工夫

- 条例運用の柔軟性：
 - 執行部が条例に基づき適宜改善・改正を行う余地を残した構成。
- 財政的措置の明記（第 39 条）：
 - 条例の実施に必要な財政措置を講じることを市に義務付け。

4. 成果と課題

1. 成果

- 条例施行後、相談件数の増加（令和 4 年度：29 件 → 令和 5 年度：100 件超）。
- 子どもたちの声を政策に反映する仕組みの確立。
- 独立した権利擁護体制の構築。

2. 課題

- 子どもの意見収集方法の改善が必要（特に若年層への直接的なアプローチ）。
- 専門的人材の確保が困難（相談員・擁護委員の募集に課題）。
- 条例内容の市民・職員間での周知不足。

5. 提言

- 子どもの意見収集を拡充するため、デジタルプラットフォームの活用や学校での説明会を強化。
- 専門的人材育成のための研修プログラムを設ける。
- 条例の普及啓発を継続し、市民全体が子どもの権利を尊重する文化の醸成を目指す。

北本市の子どもの権利条例の取組は、非常に体系的かつ包括的であり、他自治体にとって参考になるモデルだと感じました。条例の制定から実施、運用まで一貫したプロセスが取られている点が印象的でしたので今後本市での取り組みとしてとても勉強になりました。

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名	市民目線の会							
参加者氏名	水谷 一未							
用務先	津市							
実施日	令和7年1月11日 (土)							
目 的	三重県教育シンポジウム							
月日	発 着	路 程	路線	運 賃	特別料金	特・急料	日 当	宿泊料
1/11	四日市 ~ 津	29.6 KM	JR	590 円	円	520 円	0.5 日	甲地方
	津 ~ 四日市	29.6 KM	JR	590 円	円	520 円	(3,000 円/日)	泊
	~	KM	JR	円	円	円		(15,900 円/泊)
	~	KM	JR	円	円	円		乙地方
	~	KM		円	円	円		泊
	~	KM		円	円	円		(14,900 円/泊)
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
小 計				1,180 × 1 1,180 円	× 0 円	1,040 × 1 1,040 円	1,500 × 1 1,500 円	0 × 1 0 円
合 計				3,720				

※精算

	運 賃	特別料金	特・急料	日 当	宿 泊 料
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

第6号様式(第4条関係)

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名	市民目線の会							
参加者氏名	水谷 一未							
用務先	津市							
実施日	令和7年1月12日 (日)							
目 的	三重県教育シンポジウム							
月日	発 着	路 程	路線	運 賃	特別料金	特・急料	日 当	宿 泊 料
1/12	四日市 ~ 津	29.6 KM	JR	590 円	円	520 円	0.5 日 (3,000 円/日)	甲地方 泊 (15,900 円/泊) 乙地方 泊 (14,900 円/泊)
	津 ~ 四日市	29.6 KM	JR	590 円	円	520 円		
	~	KM	JR	円	円	円		
	~	KM	JR	円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
小 計				1,180 × 1 1,180 円 /	× 0 円	1,040 × 1 1,040 円 /	1,500 × 1 1,500 円	0 × 1 0 円
合 計				3,720				

※精算

	運 賃	特別料金	特・急料	日 当	宿 泊 料
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

令和7年01月22日

実施日時	令和7年1月11日（）14時30分～16時30分 令和7年1月12日（水）14時30分～16時30分
参加者氏名	市民目線の会 水谷一未
用務先	教育トークショー / 給食クロストーク
対応者	前川喜平氏 西郷孝彦氏 上村和弘氏 谷口たかひさ氏 安部里果 稲盛稔尚氏 久保伸嘉氏
目的・内容	食と食を通じ子どもも大人も希望を持って生きられる社会づくりを参加者とともに考える場として、子ども真ん中においた社会を実現するため教育現場だけではなく一般市民、行政、企業、様々な人々が集まり共に考える。
成果・所感	別紙1

資料別添付

別紙1

三重県教育シンポジウム 教育トークセッション

主な課題と現状

1. 不登校と自殺の増加

- 昨年度、不登校児童・生徒が約 35 万人と報告され、自殺者も増加中。
- 心身の健康問題が大きく影響していると考えられる。

2. 教育の目的と実践の乖離

- 教育基本法第一条「人格の完成」が現場で軽視される傾向。
- 子どもたちを中心にした教育が十分行われていない。

3. 学校現場の課題

- 先生たちや保護者の間で責任の押し付け合いが起きている。
- 教育の本来の目的から遠ざかる政治的・制度的な影響。

4. 心身の健康問題

- 身体的には良好でも精神的な健康が悪化している現状。
- ユニセフの幸福度調査でも精神的幸福度が最低レベル。

提案と考え方

1. 教育の原点に立ち返る

- 教育基本法第一条を基盤に、「人格の完成」や「心身の健康」を追求。
- 学校教育の目的を子どもの成長と幸福に焦点を当てるべき。

2. 実践的な改革

- 教師や学校の取り組みを見直し、子どもの目線に立つ教育を強化。
- 地域や保護者との協力体制を築く。

3. 心の健康支援

- カウンセリングやメンタルヘルスサポートを強化。
- 子どもたちが安心して学べる環境づくり。

4. 政治と教育の関係を見直す

- 教育現場への政治的な影響力を減らし、現場主導の改革を促進。
- 自治体や学校の裁量を広げる。

全国学力調査などの施策に対し、「人格の完成」を目指す教育として適切なのか、疑問を感じています。強制的に行われたり、順位を競う仕組みになっている現状は本来の教育の意義と離れているように思います。この点について、現場でどのように感じているか、具体的な取り組みの例を含めてご意見を伺えればと思います。

また、現在「学校は小さな社会」というテーマで議論される映画についても気になります。この映画の内容には非常に違和感を覚えました。入学前から子どもに過度な準備をさせたり、完璧さを求める教育現場が描かれており、それを肯定的に捉える姿勢には大きな問題があるように思えます。特に、ドキュメンタリーで描かれる教育方針が「良いもの」として紹介されている点が受け入れがたいです。

不登校や通信制高校への進学が増えている現状についても考えるべきです。「無気力」や「自己責任」とされる原因はどこにあるのか。本来、子どもたちは主体性に溢れているはずです。それが失われていく背景を深く掘り下げる必要があります。また、新自由主義的な競争や能力主義が教育現場に及ぼす影響についても問題視しています。

具体的には、小学校教育における現場の取り組みや課題に目を向けるべきです。たとえば、失敗を許容し、挑戦を重ねる「小さな社会」としての学校をどう作るか。その中で、教師や保護者がどう関わるかが重要です。

個人的な経験からも、精神的な負担や自己肯定感の低さが、学校教育の硬直的な構造や命令的な関係性に起因することが多いと感じています。「自主性を育む教育」と掲げていながら、実際には命令型の指導が主流である現状は疑問を感じざるを得ません。

最後に、保護者としての体験からも指摘したいことがあります。たとえば、自然と主体性を育む教育を受けてきた子どもが、伝統的な学校教育に移る際のギャップや、それが親子関係や子どもの心に及ぼす影響は計り知れません。環境の重要性を考えると、教育現場全体が柔軟な発想を持つ必要があるのではないのでしょうか。

三重県教育シンポジウム 給食クロストーク

1. 食と環境、社会のつながり

- 食事は次の機会や持続可能な社会づくりに大きく寄与するという視点。
 - 環境配慮(安心・安全・将来世代のための取り組み)が重視されており、給食はその象徴的な存在。
 - オーガニック給食の推進によって、子供たちの心身の健康をサポートし、持続可能な社会形成に貢献。
-

2. オーガニック給食の導入と影響

- 伊那市では給食の一部にオーガニック食材を導入しており、今後の予算を倍増し、年 2 回から 4 回へ増やす計画がある。
 - オーガニック給食の意義：
 - 子供たちが安心して食べられる食材を提供。
 - 地元の農家を支援し、地産地消を促進。
 - 他国の事例(韓国)では、給食や軍隊の食事をオーガニック化することで、農家の持続可能な運営と有機農地面積の拡大に成功。
 - オーガニック農産物の安定した販路(行政が買い取る仕組み)が農家の転換を促進した。
-

3. 農業と教育の共通点、農家支援の課題

- 元教師が農家に転身した事例：
 - 農業と教育には共通点がある。大人が子供の成長を邪魔しないように、農業でも自然の力を邪魔せず活用することが重要。
 - 手作業での米づくりを通じて、人と人がつながる場を作り、農業への新しい視点を発見。
 - オーガニック農業の課題：
 - 除草剤を使わない場合、労力が 10 倍以上になることもある。
 - 高齢化が進む農家には労力の負担が大きく、課題となっている。
 - 一方で、公務員的な安定した収入や販路の確保があれば、中学生の「将来の夢」として農業が魅力的な選択肢になり得る。
-

追加の視点や提案

- 給食のオーガニック化をさらに進めるには、行政の予算拡大や農家支援が不可欠。
- 農家の労力軽減のための技術開発や、地域ぐるみでの取り組みが重要。
- 地域住民と行政、農家が一体となり、食と環境、教育を統合した持続可能なモデルの構築を目指すべき。



学校のミライ

給食

×

教育

三重県教育 シンポジウム

全ての子どもが幸せに生きるために



1/11(土)12(日)

2DAYS

場所：アスト津

「食」と「教育」の2つのテーマを通じ「子どもも大人も希望を持って生きられる社会づくり」に参加者とともに考える場です。「生きてるって良いなぁ」と感じられる子どもを真ん中においた社会を実現するため、教育現場だけではなく、一般市民、行政、企業、様々な立場の人々が集まり、共に考えます。この共創の場が大きな波紋を広げ、変化をもたらすことができると信じています。

1日目

スケジュール

10:00～11:17 「夢みる給食」上映
12:15～13:50 「夢みる小学校完結編」上映
14:30～16:30 教育トークセッション
前川喜平氏、西郷孝彦氏、上村和弘氏

2日目

スケジュール

10:00～11:35 「夢みる小学校完結編」上映
12:35～13:50 「夢みる給食」上映
14:30～16:30 谷口たかひさ氏
基調講演会&給食クロストーク



両日2回上映

夢みる小学校完結編 (95分)
夢みる給食 (77分)

主催

夢みる小学校上映する会@三重
子どもの多様な学びを育む会in三重

谷口たかひさ氏、阿部里果氏、稲森穂尚氏、久保伸嘉氏

後援

三重県、三重県教育委員会、三重県市町教育長会、三重県教職員組合、三重県PTA連合会、津市・津市教育委員会、桑名市教育委員会、松阪市教育委員会、いなべ市教育委員会、亀山市教育委員会、伊賀市教育委員会、鈴鹿市教育委員会、鳥羽市教育委員会、伊勢市教育委員会、志摩市教育委員会、四日市市・四日市市教育委員会、朝日町教育委員会、菰野町教育委員会、東員町教育委員会、多気町教育委員会、明和町教育委員会、大台町教育委員会、度会町教育委員会、大紀町教育委員会、東海農政局 協力 三重大学教育学部特別支援教育講座 森浩平研究室

チケットご購入

